

新たなグリーンホールの整備に向けたオープンハウス



調布市グリーンホールは、昭和52年の開館以来、市民が質の高い文化芸術に触れる機会や活動・体験する場として、長年にわたり多くの方に親しまれながら、利用されています。

一方で、施設・設備の経年劣化やバリアフリーへの対応などが課題となっているほか、利用者ニーズや時代の変化を踏まえた機能の改善が必要となっています。

こうした施設の課題への対応や、調布駅前に新たな賑わいを創出するため、総合福祉センター敷地を含む現敷地における、新たなグリーンホールの整備に向けた取組を進めています。また、整備に当たっては、市の公共施設を取り巻く課題を踏まえ、民間活力の活用を検討しています。

なお、整備後の施設については、市民の文化芸術の拠点となるホール機能を核として、調布駅前広場に隣接した立地を最大限に生かしながら、調布のまちの魅力を高める複合施設としていきたいと考えています。

本日のオープンハウスでは、新たなグリーンホールの整備に向けて、ホール機能や新たな複合施設に期待する機能について、市民の皆様のご意見を伺いたいと考えています。

調布市 行政経営部公共施設マネジメント担当
生活文化スポーツ部文化生涯学習課

※ 本日のアンケートには、パネルの展示内容に対応した設問をご用意しています。
ぜひ、パネルをご覧になりながら、ご意見をお寄せください。

パネル① 現在のグリーンホールについて



【大ホール】



【小ホール】

【施設の全体概要】

建築年度	昭和52（1977）年度	築年数	築46年	敷地面積	4513㎡ 総合福祉センター敷地含む
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	建築面積	2763㎡		
階数	地上5階地下1階	延べ床面積	7288㎡		
指定管理者	(公財) 調布市文化・コミュニティ振興財団				

	大ホール	小ホール
用途	音楽、演劇、オペラ、式典、講演等	音楽、演劇、美術展、式典、講演等
舞台	間口18m、奥行14m、高さ9m	間口10m、奥行4m、高さ3.2m
諸室	楽屋5室、リハーサル室1室	楽屋1室
客席	1307席 (1階877席、2階430席)	300席(移動型)

【その他施設概要】

事務室	(公財) 調布市文化・コミュニティ振興財団
ロビー	1階エントランスロビー 2階ホワイエ等
喫茶室	1階レストラン (現在閉店中)

昭和52年に建設した「調布市グリーンホール」は、大小2つのホールを有し、「調布国際音楽祭」や「映画のまち調布 シネマフェスティバル」など調布ゆかりの文化資源を活用した独自事業をはじめとする、**質の高い文化芸術に身近に触れることのできる場**として、また、市民の皆さんの**文化芸術の発表・創造の場**として、多くの方に幅広く利用されている文化施設です。

パネル② 現在のグリーンホールについて（つづき）

○グリーンホール建設の経緯

現在のグリーンホールは、昭和49年3月に策定された「調布市総合計画」に、その建設が位置付けられています。

当時、調布市内には、質の高い優れた文化芸術を本格的に鑑賞できる機能が備わった施設がなかったことから、市民の文化水準の向上を図るとともに、芸術性の高い豊かな情操と創造性を養う機会が得られるよう、優れた文化芸術を鑑賞できる場や、市民の自発的な文化芸術活動に活用できる場など、多様な文化施設を市民の身近なところに整備していくことが重要な課題であるとしたうえで、新設する市民福祉会館内に、音響効果や照明など高度な機能を備えた市民ホールを新設することが定められました。

○建設当時から『文化の向上』を設置目的に掲げる

「調布市市民福祉会館」として建設された当時のグリーンホールは、その設置根拠となる「調布市市民福祉会館条例」の中で、施設を設置目的に『市民の文化の向上』を掲げています。

建設当時、各自治体の類似施設の設定条例には、文化施設を含む公共施設全般について、設置目的に『福祉の向上』を掲げるものが多く、当初から「文化の向上」を目的に掲げた条例は先進的なものでした。

調布市市民福祉会館条例

（平成6年に調布市グリーンホール条例に全部改正）

第1条（設置）

市民福祉の増進と文化の向上に寄与するため、調布市市民福祉会館を調布市小島町2丁目47番地1に設置する。

○文化芸術の拠点であるホールに求められるもの

文化芸術の拠点であるホールの役割や機能は、変わらないものもあれば、時代の変化に応じて新たに求められるものもあります。

近年建設された他自治体の事例を参考に、今グリーンホールに求められている役割や機能を整理していく必要があります。



グリーンホール新設時の様子

パネル③ 調布市グリーンホールのあゆみ

1977年（昭和52年）

調布市市民福祉会館 竣工
グリーンホール開館こけら落とし「あやつり三番叟」

1978年（昭和53年）

調布市成人式（以降グリーンホールで実施）

1979年（昭和54年）

「カックラキン大放送!!」等テレビ番組の公開収録

1980年（昭和55年）

小澤征爾オータムコンサート
松山バレエ団「ジゼル」

1981年（昭和56年）

松竹大歌舞伎公演
NHK交響楽団演奏会

1982年（昭和57年）

劇団四季公演「コーラスライン」



開館時の様子



こけら落とし公演

1987年（昭和62年）

開館10周年記念番組開催
小澤征爾と新日本フィル スプリングコンサート
リチャード・クレイダーマン スイートコンサート ほか

1993年（平成5年）

中村絃子ピアノリサイタル



中村絃子ピアノ
リサイタル

1997年（平成9年）

グリーンホール20周年記念事業
宇崎竜童&R・U CONNECTION with 井上堯之
能と狂言の夕べ（野村万作，観世喜之ほか） ほか

1998年（平成10年）

読売日本交響楽団「運命の響き」

2001年（平成13年）

和泉元彌狂言の世界

2006年（平成18年）

保育付き公演スタート

2007年（平成19年）

グリーンホール開館30周年記念事業
バッハ・コレギウム・ジャパン「メサイア」
三夜連続落語会 ほか

2010年（平成22年）

バッハ・コレギウム・ジャパン協定事業スタート
ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会2010

2013年（平成25年）

鈴木優人氏をエグゼクティブ・プロデューサーに迎え、
新生「調布音楽祭」をスタート

2014年（平成26年）

桐朋学園オーケストラ協定事業スタート
ラグビーW杯パブリック
ビューイングの様子

2017年（平成29年）

調布音楽祭を「調布国際音楽祭」に改称

2018年（平成30年）

グリーンホール40周年事業「歓喜の第九」
佐藤しのぶソプラノリサイタル
サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス ほか

2019年（令和元年）

ラグビーワールドカップ2019
（パブリックビューイング）

2022年（令和4年）

調布国際音楽祭が10回目を迎え、
NHK交響楽団等が出演

ディズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会2010

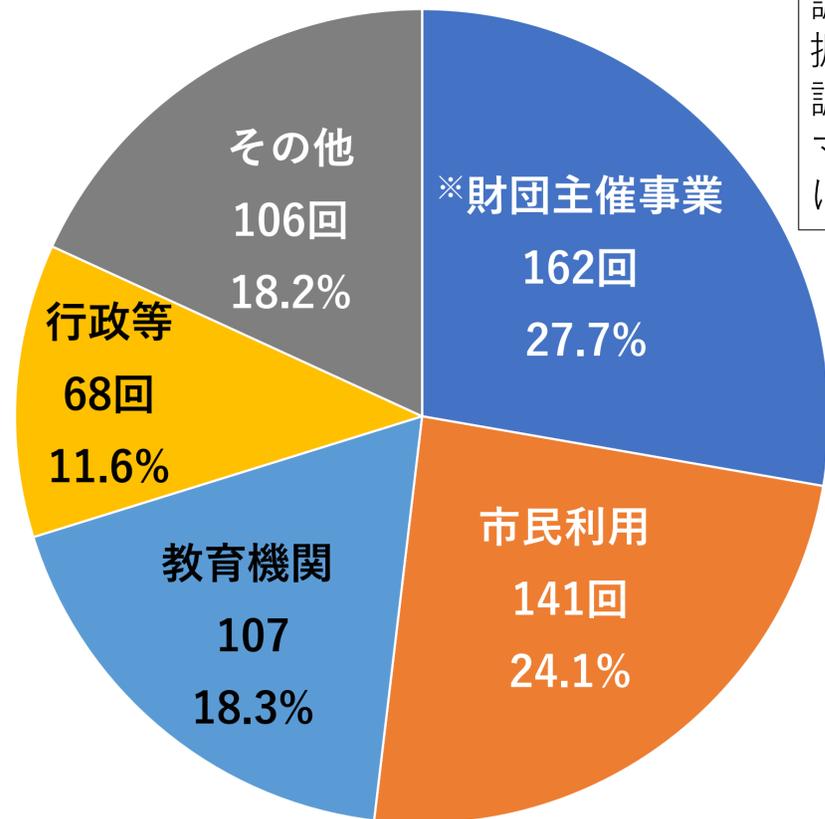


調布国際音楽祭2022

パネル④ 施設利用状況（グリーンホール・大ホール）

(H29～R1)

利用団体の内訳

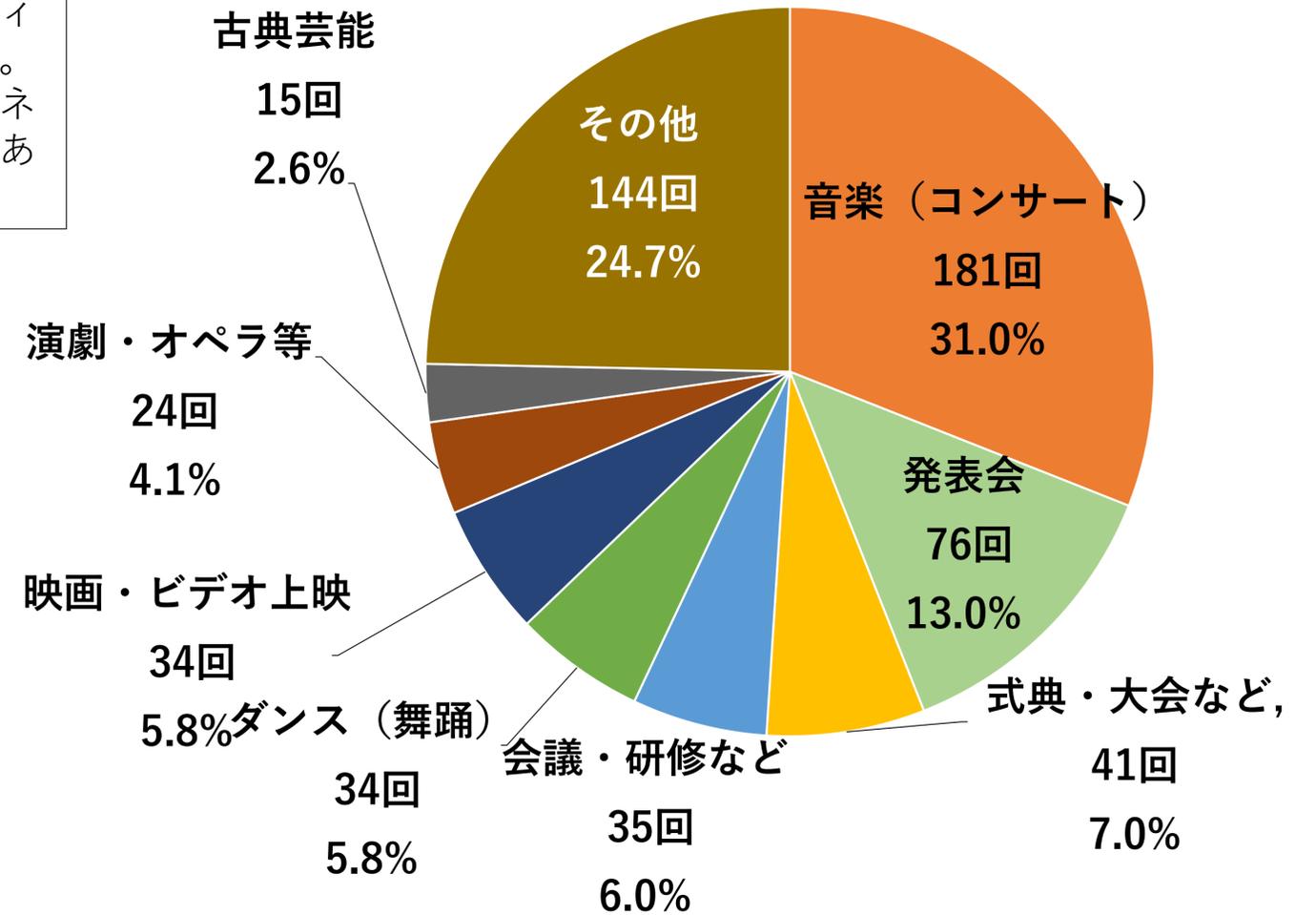


*財団主催事業
指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が主催する事業。調布国際音楽祭や調布シネマフェスティバルなどがあげられる。

※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計584回）」の内訳

- 財団主催事業と市民利用が合わせて半分以上の利用を占めており、**市民の鑑賞の場**であるとともに、**市民の文化芸術の発表・創造の場**となっています。

利用目的の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計584回）」の内訳

- 音楽（コンサート）、発表会での利用をはじめ、**広く多目的に利用**されています。

大ホール利用率

R1	84.8%
H30	92.0%
H29	91.6%

- **「鑑賞の場」「発表の場」の両面の役割**を果たしており、毎年約9割という**高い利用率**を示しています。

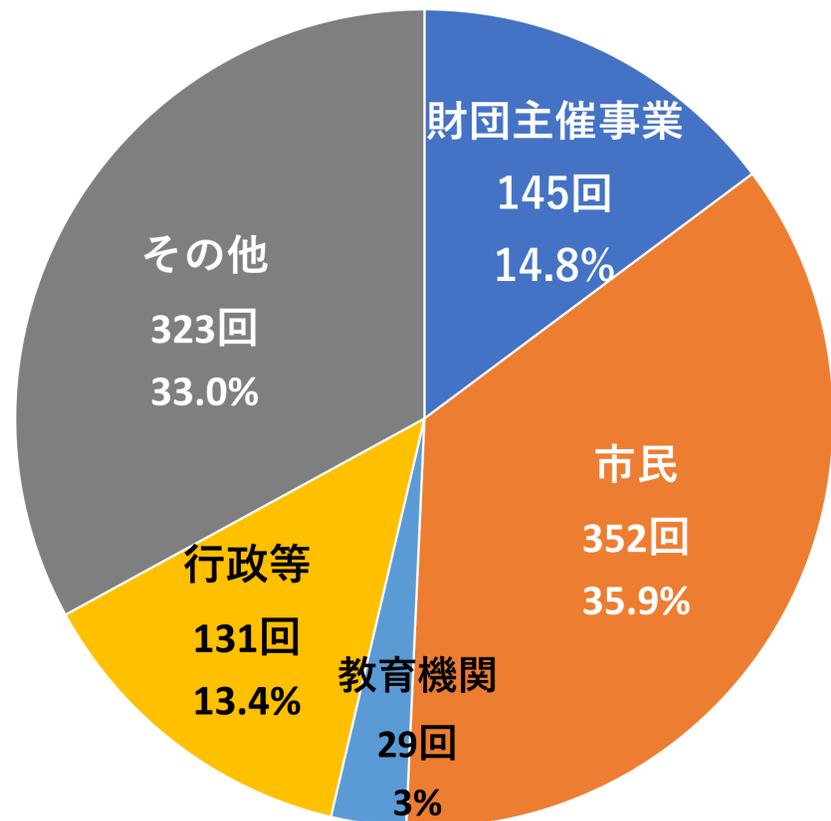
※令和元年度については、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から3月の利用が少なく、例年よりも利用率が下がっています。

※「利用率」＝利用日/開館日
開館日…休館日と終日保守点検日を除く日

パネル⑤ 施設利用状況（グリーンホール・小ホール）

(H29～R1)

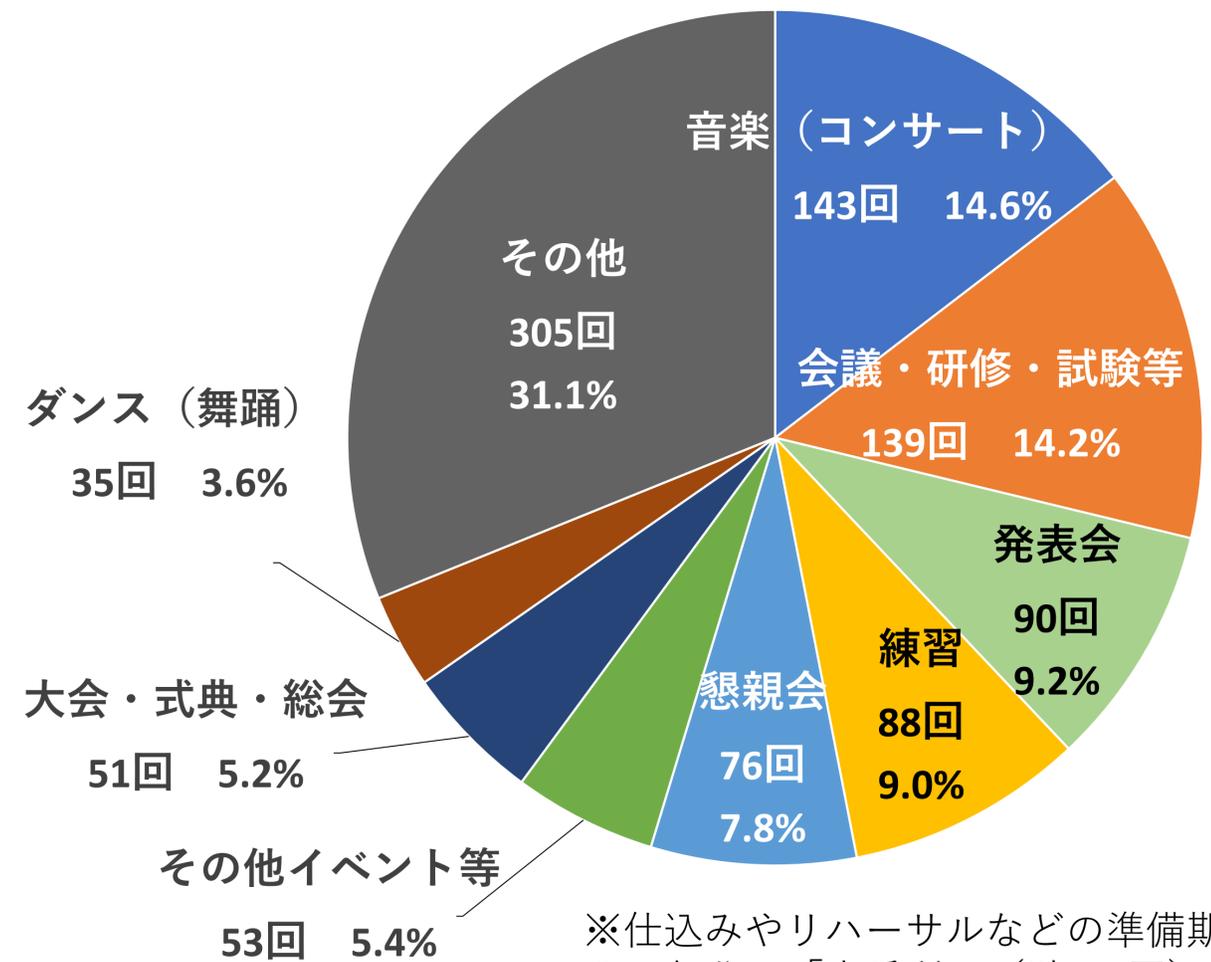
利用団体の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計980回）」の内訳

- 市民利用が最も多く、**市民の文化芸術活動の場**としてコンサートや発表会などに多く利用されています。
- **練習場所**としての需要も担っており、多くの人が活動する団体や事業で利用されています。

利用目的の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計980回）」の内訳

- 音楽（コンサート）や発表会の利用及び練習のほか、会議や研修など**広く多目的に多用途に利用**されています。

小ホール利用率

R1	83.7%
H30	97.0%
H29	93.2%

- **多目的に利用**されているホールであり、毎年約9割という**非常に高い利用率**を示しています。

※令和元年度については、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から3月の利用が少なく、例年よりも利用率が下がっています。

※「利用率」＝利用日/開館日
開館日…休館日と終日保守点検日を除く日

パネル⑥ 現在のグリーンホールの状況・課題（舞台形式・客席形状）



大ホール

舞台形式：プロセニウム形式
客席形状：並行配列
座席幅：465mm
前後奥行：930mm



小ホール

客席形状：平土間
客席数：最大300席

<利用者・利用団体の声>

【大ホール】

- ・演奏，演劇，講演会など多目的な利用ができる。
- ・特にクラシックコンサートでの音響に定評がある。（舞台上に可動式の音響反射板を設置）
- ・観客席の間隔が狭い。
- ・大型の搬入を舞台せりで行っているため，舞台上にセットを組んでしまうと搬入ができない。
- ・舞台袖が狭く，舞台装置を置くと，出演者の入れ替えがしにくい。

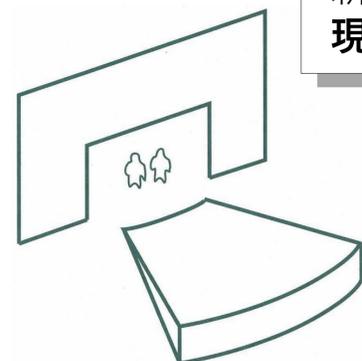
【小ホール】

- ・飲食ができることで，レセプションや交流の場として活用できる。
- ・大小ホールで相互に音漏れしてしまうため，催しの内容によっては，音漏れ対策として他方のホールの利用が制限される場合がある。

多目的ホール，音楽や演劇などの専用ホールなど，どのようなホールが新たなホールに適しているでしょうか？

パネル⑦ 他ホールの事例（舞台形式・客席形状）

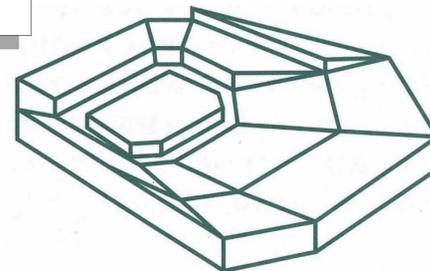
舞台形式



プロセニウム形式

舞台をプロセニウム・アーチと呼ばれる構造物で額縁状に区切る形式で、緞帳(どんちょう)などの舞台幕があることが特徴。
舞台上にすでに演者がいる状態で開幕することができるため、**伝統芸能などには必要な機能**であり、**多目的ホールに適している。**

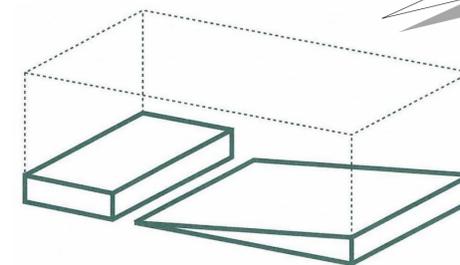
府中の森芸術劇場（どリーむホール）
新宿区立新宿文化センター（大ホール）
現在のグリーンホール(大ホール)



アリーナ形式

客席がいくつかのブロックに分かれ舞台を取り囲むように並べる形式。
多角形のような平面形状になり、**比較的規模が大きくなる傾向**がある。
あらゆる角度から観劇されるため、**舞台装置や演出には制限がある。**

サントリーホール
ミュージア川崎シンフォニーホール



シューボックス形式

くつ箱型（長方形）をしており、舞台に対して平行に客席を並べることで、音が均一に響きやすく、音響特性に優れている。
バルコニー席（舞台の後ろや横）が設けられることもあり、**中小規模の音楽ホールに適している。**
一方で、幕などの吊り物を設置することができないため、演劇やバレエ等には不向き。

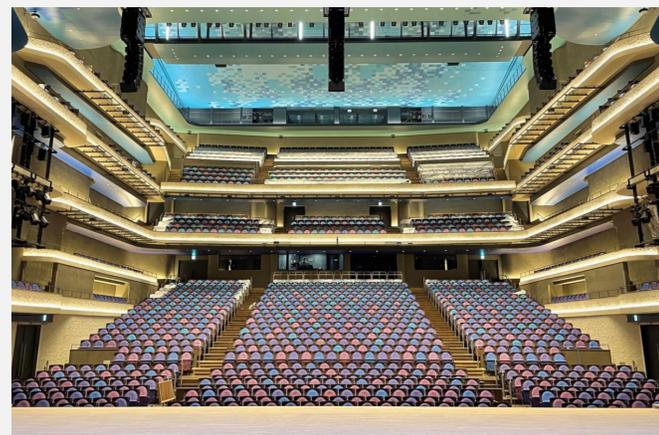
オーチャードホール
すみだトリフォニーホール
東京オペラシティ・コンサートホール

客席形状



箕面市立文化芸術劇場
：円弧配列（1401席，客席2層）

客席はすり鉢状に近く、どの席に座ってもステージが見やすい。
座席幅：530mm以上
前後奥行：950mm以上（要求水準）



那覇文化芸術劇場 なは一と大劇場
：千鳥配列（1594席，客席3層）

1列ごとに客席を半分ずらし前列の客席の間からステージを見る。多くのホールで採用されている形式。
座席幅：520mm
前後奥行：950mm



五泉市交流拠点複合施設 ラポルテ五泉
：平土間形式

前方の段床固定席を取り外し、移動型客席を後方に収納することで平土間形式で利用することができる。

パネル⑧ 現在のグリーンホールの状況・課題（小ホール・楽屋など）



小ホール

客席形状：平土間
客席数：最大300席



楽屋

大ホール：5室
小ホール：1室



リハーサル室

1室 (73㎡)
(板張り※土足禁止)

<利用者・利用団体の声>

- ・小ホールは平土間形式のため、展示を行ったり、椅子を並べて発表会を行ったり、多目的に利用できる。
- ・小ホールは飲食ができることで、レセプションや交流の場としても活用できる。
- ・大ホールでは公演、小ホールでは関連ワークショップなど、大ホールと一体で催しを行うことで、催しの幅が広がる。
- ・楽屋が小さく不足しているため、リハーサル室や倉庫も、楽屋として使用していることがある。
- ・リハーサル室は、舞台使用者が別にいると使用できない（ホールの付帯施設になっている）ため、単独使用できるリハーサル室など複数あると良い。
- ・舞台本番同様のリハーサルができるよう、舞台面と同じ大きさのリハーサル室がほしい。
- ・複数人で音が出せる練習室が不足している。

新たなホールの小ホールには、どのような機能があると良いのでしょうか？

パネル⑨ 他ホールの事例（小ホール・楽屋など）

練習室



北上さくらホール

吹き抜けに面したガラス張りの練習室が設けられており、公開練習などにも使用することができる。

杉並公会堂 大ホール：1190席
小ホール：194席

スタジオD

小ホール舞台と同程度の規模感となっており、バレエやダンス公演を想定した練習を行うことができる。

楽屋



三次市民ホール きりり

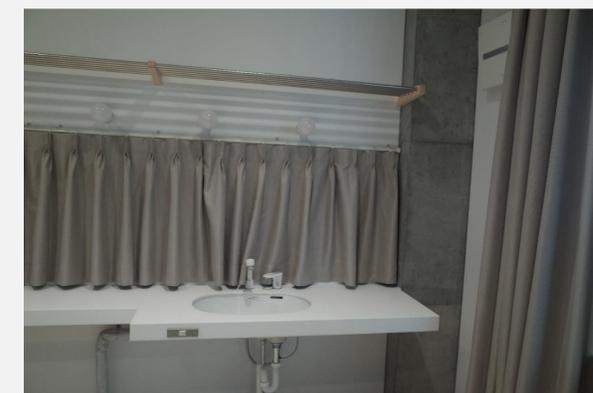
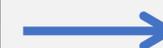
会議室としても使用できる楽屋。化粧台の鏡をカーテンで隠せるようになっている。

リハーサル室

グランサロン
(大規模音楽練習室) 245㎡ / 160名

練習室

スタジオA	46㎡/コーラス30名程度
スタジオB	24㎡/バンドで10名
スタジオC	32㎡/コーラスで20名
スタジオD	58㎡/ダンスレッスンで20名
スタジオE	15㎡/バンドで5名～6名



パネル⑩ 現在のグリーンホールの状況・課題（バリアフリー対応）



エレベーター 1基
(定員13人/900kgまで)

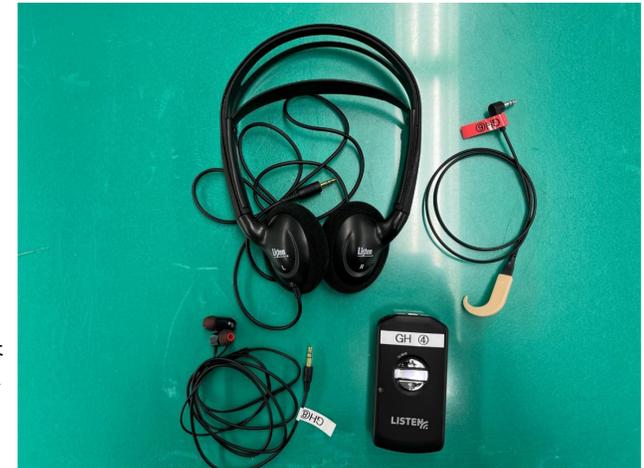


常時座席を取り外した「車いす用客席」として6席を確保。

扉付近だけでなく、客席の前方中央にも配置することで、車いすの方にも席を選んでいただけるよう工夫。

F M 集団補聴システムを導入
(大ホール)

貸出し用受信機や手持ちの補聴器を使用して、場内の音声をクリアに聞くことのできるシステム。



<利用者・利用団体の声>

【観客の視点】

- ・エレベーターは施設に1基しかなく、入り口やかご内も狭い。
- ・大ホールの2階客席まで行けるエレベーターがない。
- ・観客席の出入口付近だけでなく、前方中央部分に、常時座席を取り外した車椅子用鑑賞スペースを設けている。
- ・小さな子どもと一緒に鑑賞できる「親子鑑賞室」がない。

【主催者・演者の視点】

- ・子ども連れの参加者が多いイベント等では、ロビーなどの共用スペースをベビーカー置き場として運用している。
- ・常設の「授乳室」がないため、2階会議室などの部屋を活用している。
- ・楽屋側にエレベーターがない。
- ・リハーサル室が3階にあり、2階の舞台までの動線が階段のみのため、特に高齢の場合、直前の練習ができないことがある。
- ・現在の客席椅子は、跳ね上げ式ではないため、本番前に椅子を上げる作業をこなす必要がある。

誰もが使いやすいホールとなるためには、どのような設備・機能が必要でしょうか？

パネル⑪ 他ホールの事例（バリアフリー対応）

ホール内の段差解消



カルッツかわさき

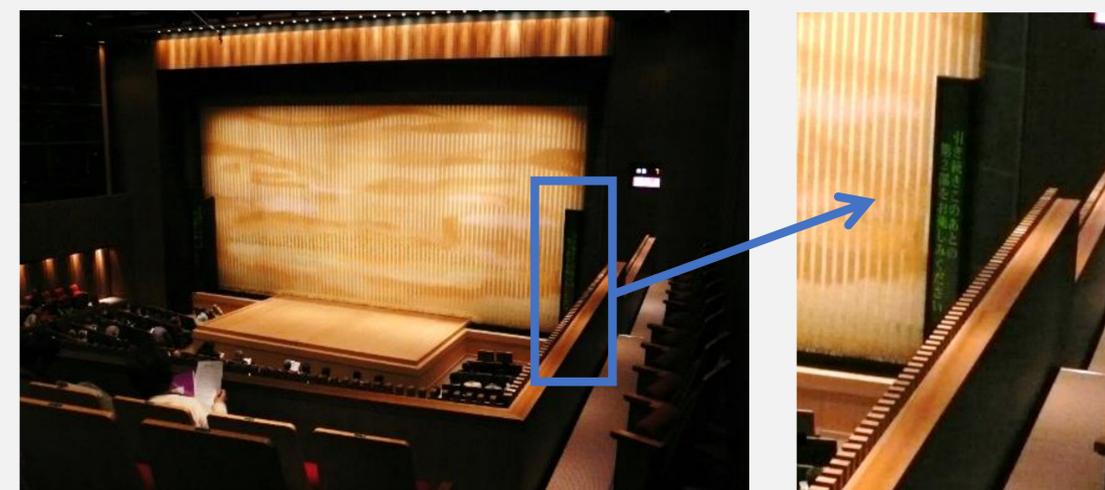
舞台，中通路，ホワイエ，楽屋エリアを同一レベル上で計画されており，車椅子等を利用する観客・出演者が段差なく行き来できる。

字幕設備



国立能楽堂

各席に字幕設備が設置されている。



国立劇場おきなわ

舞台の両端に大型LED字幕設備が設置されている。

* 字幕設備は機器レンタルでの対応も可能。必要な人のみ自席で対応するポータブル字幕もある。

車椅子用観覧席



日生劇場

客席そのものが可動式になっており，客席通路まで車椅子で移動し，客席に着席できる。

親子観覧席



大ホール

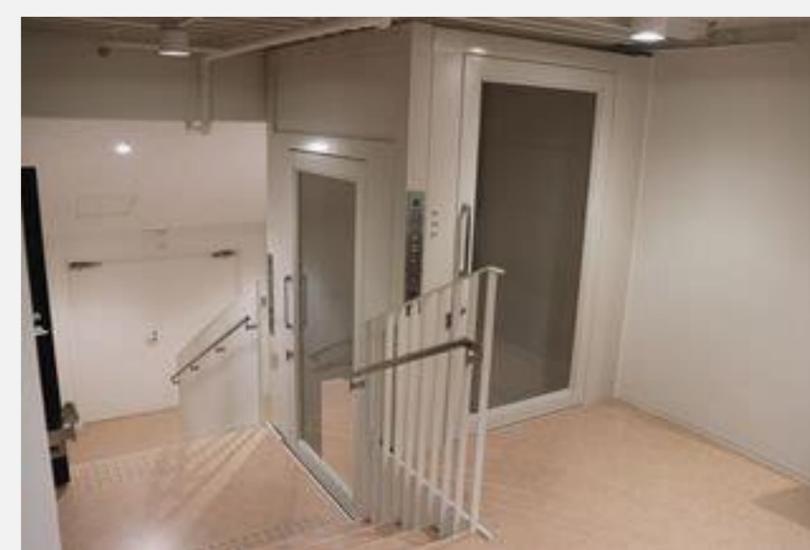


小ホール

東広島芸術文化ホール「くらら」

可動席を配置し，必要に応じて席を減らすことができる。親子観覧用だけでなく，障害のある方の利用など様々な目的に使用されることもある。

主催者・演者のバリアフリー



パルテノン多摩

車いすの方も客席最前列，楽屋フロア，舞台面のいずれにもアクセスできるように，段差解消機を設置。

パネル⑫ 現在のグリーンホールの状況・課題（その他設備）



大ホール横トイレ

大ホール1307席 個数39個
(男子：11 女子：28)



大ホールホワイエは、ホール公演と連動したワークショップや展示などのイベントにも活用されている。

<利用者・利用団体の声>

- ・トイレの数が少なく、公演の合間には長蛇の列ができてしまう。
- ・男子トイレ内にもおむつ交換台があるのは良い。
- ・楽屋側のトイレが不足している。オーケストラなど出演者の人数を考慮した配置が必要。
- ・楽屋からステージの動線が良くない。ステージと同じフロアでない楽屋も、すぐにステージ袖に行けるような動線が必要。
- ・小道具や衣装などの持ち込みの際、階段での移動が負担。駐車場から楽屋、舞台袖までのエレベーターがほしい。
- ・エスカレーターを設置するなど、ロビーに人が滞留しないような工夫がほしい。エレベーターのみだと退出時に時間がかかる。

誰もが使いやすいホールとなるためには、どのような設備・機能が必要でしょうか？

パネル⑬ 他ホールの事例（その他設備）

トイレ



兵庫芸術文化センター
大ホール2001席 個数111個
(男子：25 女子：86)
タグ付きのトイレ扉
トイレ利用者の列から空いて
いるブースが分かるよう、空
いているトイレの扉に待って
いる人から見えるようにタグ
を付ける。

東京建物BlliriaHALL
ホール1248席 個数48個
(男子：10 女子：38)
間仕切りの可動化
トイレの男女が接する部分に
二箇所の間仕切を設置し、来
場者の男女比に合わせてト
イレの台数を変動させる。

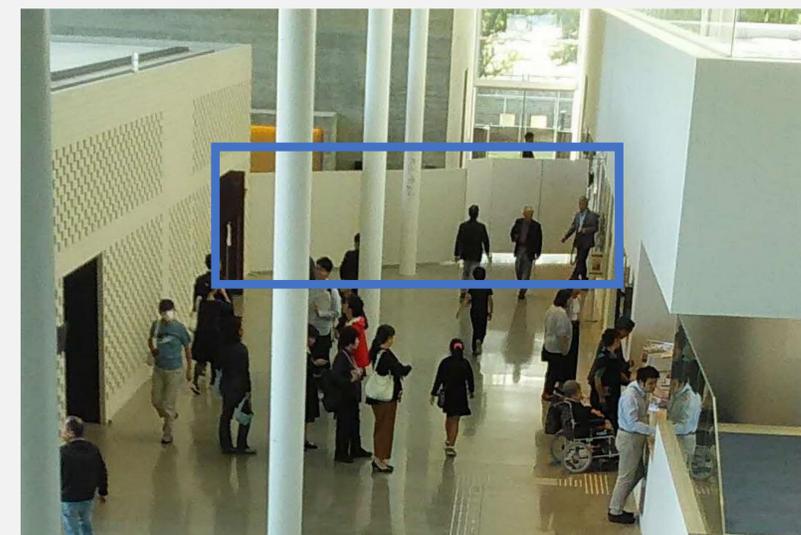
岡山芸術創造劇場 ハレノワ
ホール1753席 個数70個
(男子：13 女子：57)
ウォークスルー（通り抜け）
入口と出口を別に設けて人の
流れを一方通行にすることで
、入口付近で人が混雑するの
を防いでいる。



パルテノン多摩

小さな子どもも使いやすい子ども
用トイレが設置されている。

動線の工夫



太田市民会館

スタジオ（左手奥のグレーの壁）を楽屋と
して使う場合、パーティションを設置し
て、演者が来場者から見えなくして
いる。（右手奥がホールに通じている）



総合案内
への動線

ミュージアム
への動線

パルテノン多摩

入口から総合案内、ミュージアムへとつな
がる動線を照明で表現している。

パネル⑭ グリーンホールが立地する調布駅周辺の状況

○調布駅周辺の様子

現在も調布駅周辺地区は発展し続けています。



調布駅北第1A地区
第一種市街地再開
発事業



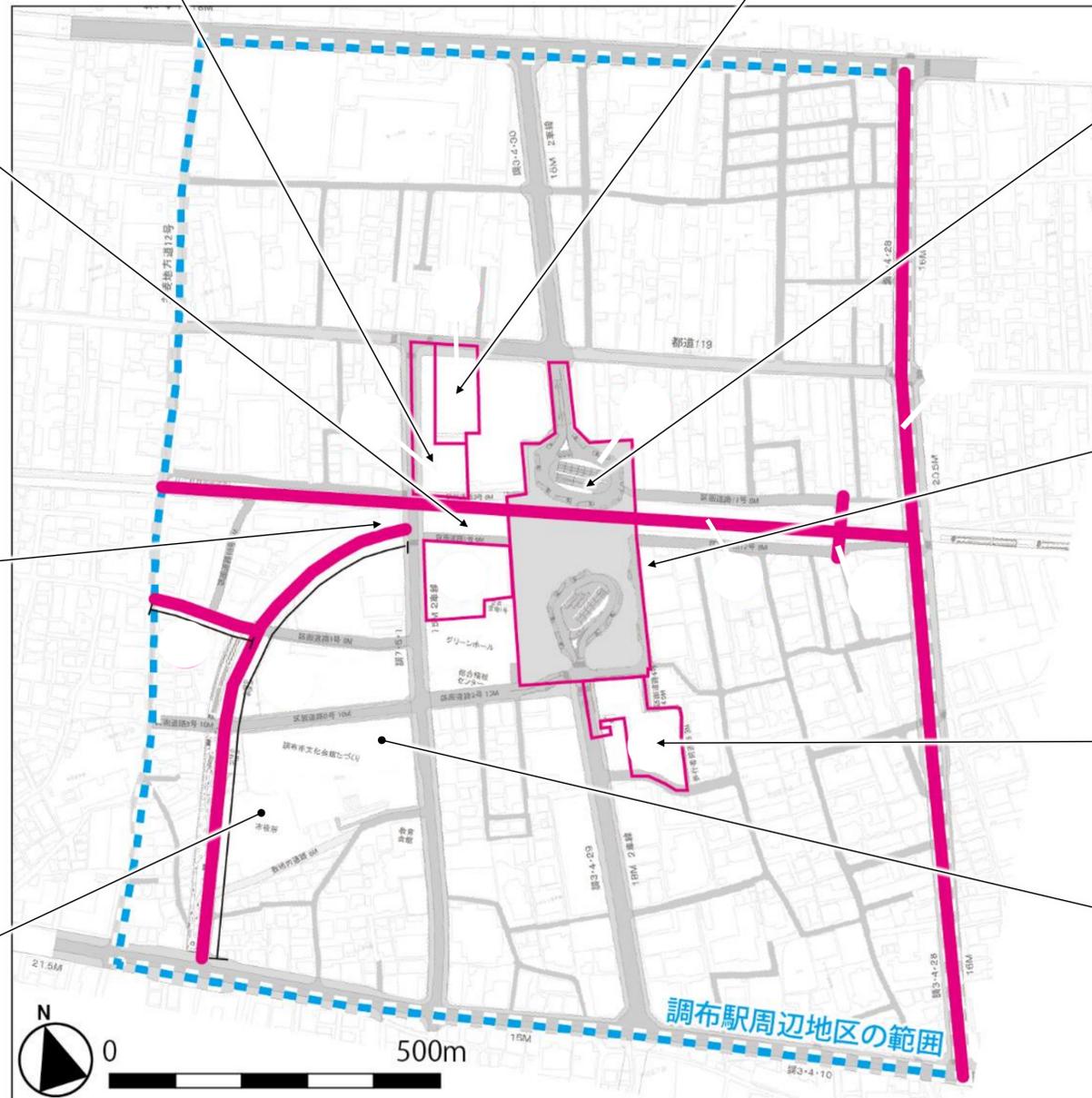
調布駅北第1B地区
第一種市街地再開
発事業



駅前広場整備事業 (R7年度完成予定)



調布駅南第1地区第一種市街地
再開発事業



トリ工京王調布



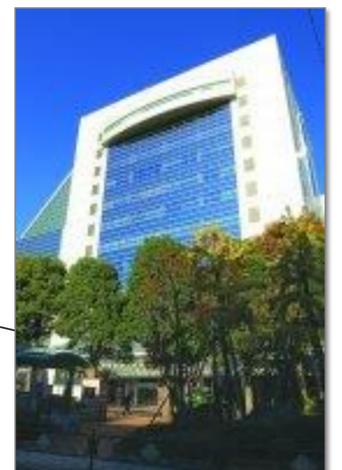
京王線連続立体交差事業により
創出された鉄道敷地の利用



調布駅南口東地区
第一種市街地再開
発事業



調布市役所



文化会館たづくり

グリーンホールの立地を生かし、まちの魅力を高めるには、どのようなホールがあると良いのでしょうか？

パネル⑮ 他ホールの事例（賑わいの創出）



穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

ロビー部分のオープンスペースは、“芸術文化創造活動施設”の一つとして位置付けられ、イベントや展示にも活用されている。主ホールホワイエ、アールスペース等がオープンスペースを取り囲むように配置されており、賑わいの中心となっている。



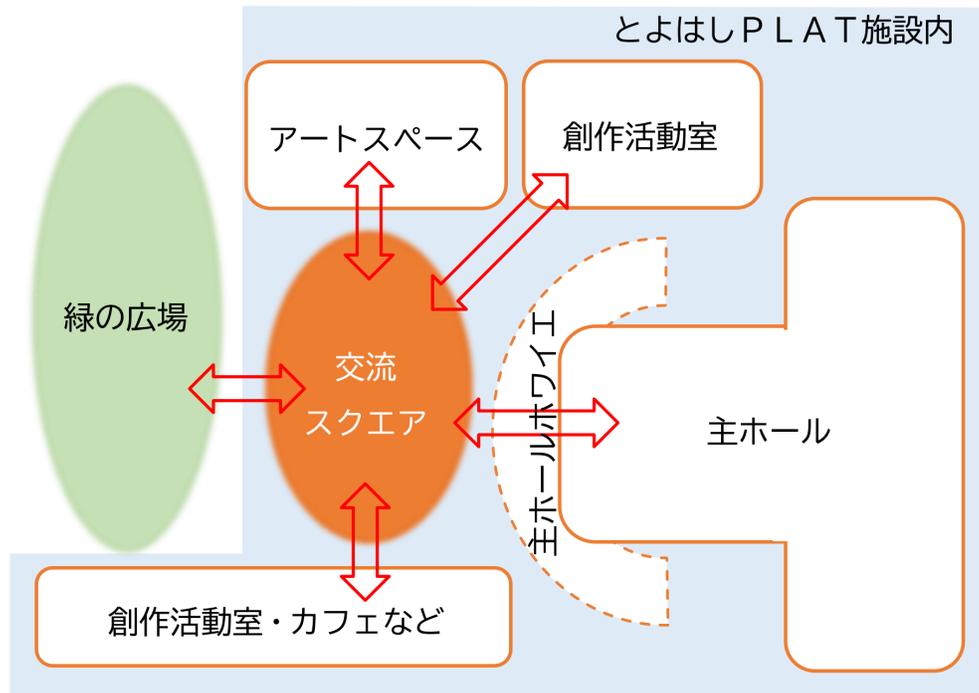
東京建物 Brillia HALL

建物の面する公園に在る方にも見えるよう大型ビジョンが設置されている。ホールそのものの場所がひと目でわかるだけでなく、上演内容の案内などを来館者や通行者に広くアピールできる装置となっている。



THEATER MILANO-Za（東急歌舞伎町タワー）

建物の面する広場とのつながりを感じられるような開放的な意匠となっているほか、テラスや店舗、ビジョン等を配置し、施設内の賑わいを積極的に外へ開く作りとなっている。施設に面した広場を客席と見立て、客席に面してビジョン（約200㎡）、ステージ（約150㎡）を配置することで、民有地と公有地が一体となった「屋外劇場的都市空間」を形成している。

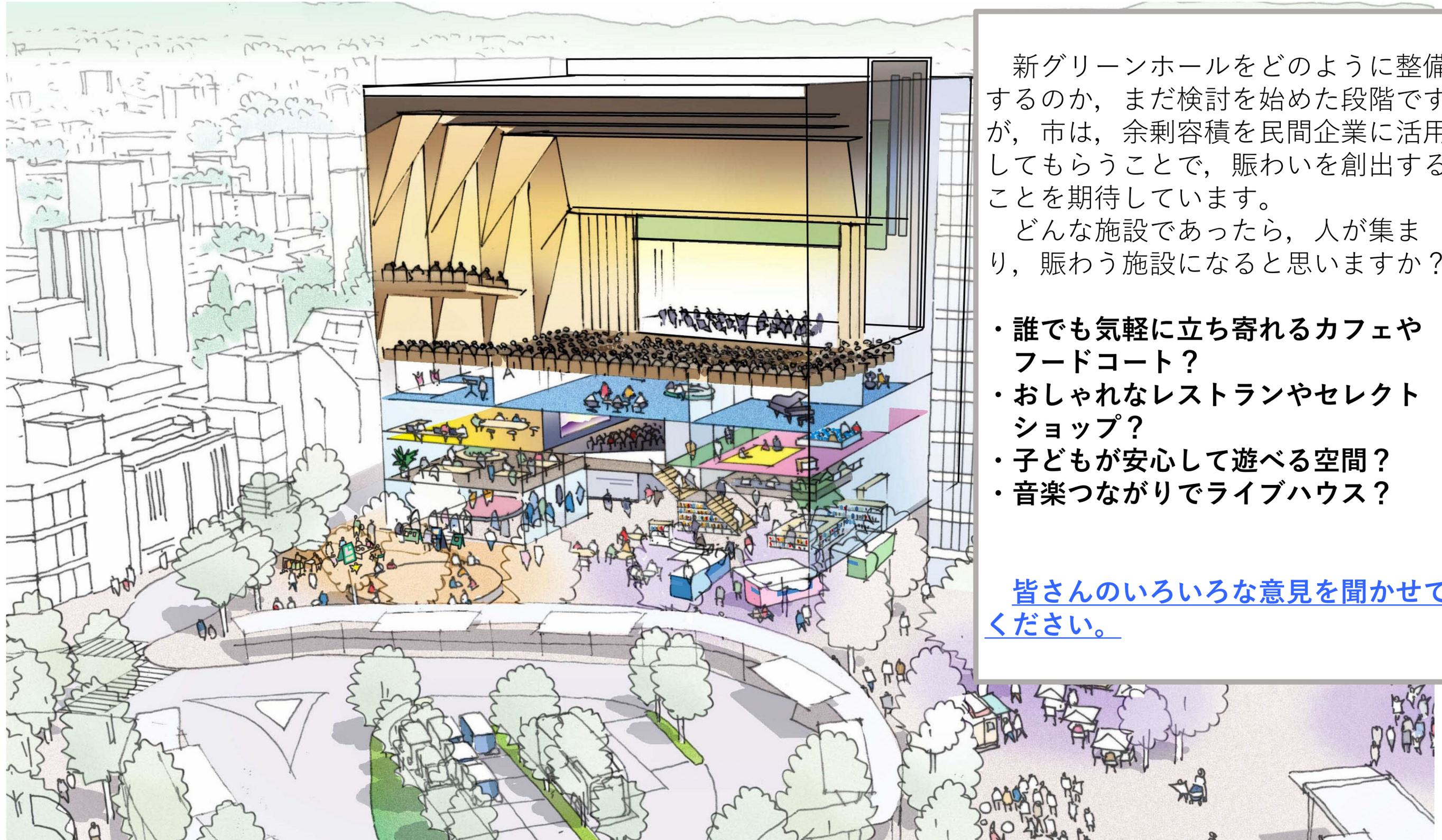


KAAT神奈川芸術劇場

神奈川県立施設とNHK横浜放送局の複合施設であることを生かし、共用の1階エントランスロビーでイベントが行われている。

パネル①⑥ 新たなグリーンホール複合施設による賑わいの創出に向けて

駅前にホールを含む建物を整備する場合、どんな施設が欲しいですか？



新グリーンホールをどのように整備するのか、まだ検討を始めた段階ですが、市は、余剰容積を民間企業に活用してもらうことで、賑わいを創出することを期待しています。

どんな施設であったら、人が集まり、賑わう施設になると思いますか？

- ・誰でも気軽に立ち寄れるカフェやフードコート？
- ・おしゃれなレストランやセレクトショップ？
- ・子どもが安心して遊べる空間？
- ・音楽つながりでライブハウス？

皆さんのいろいろな意見を聞かせてください。

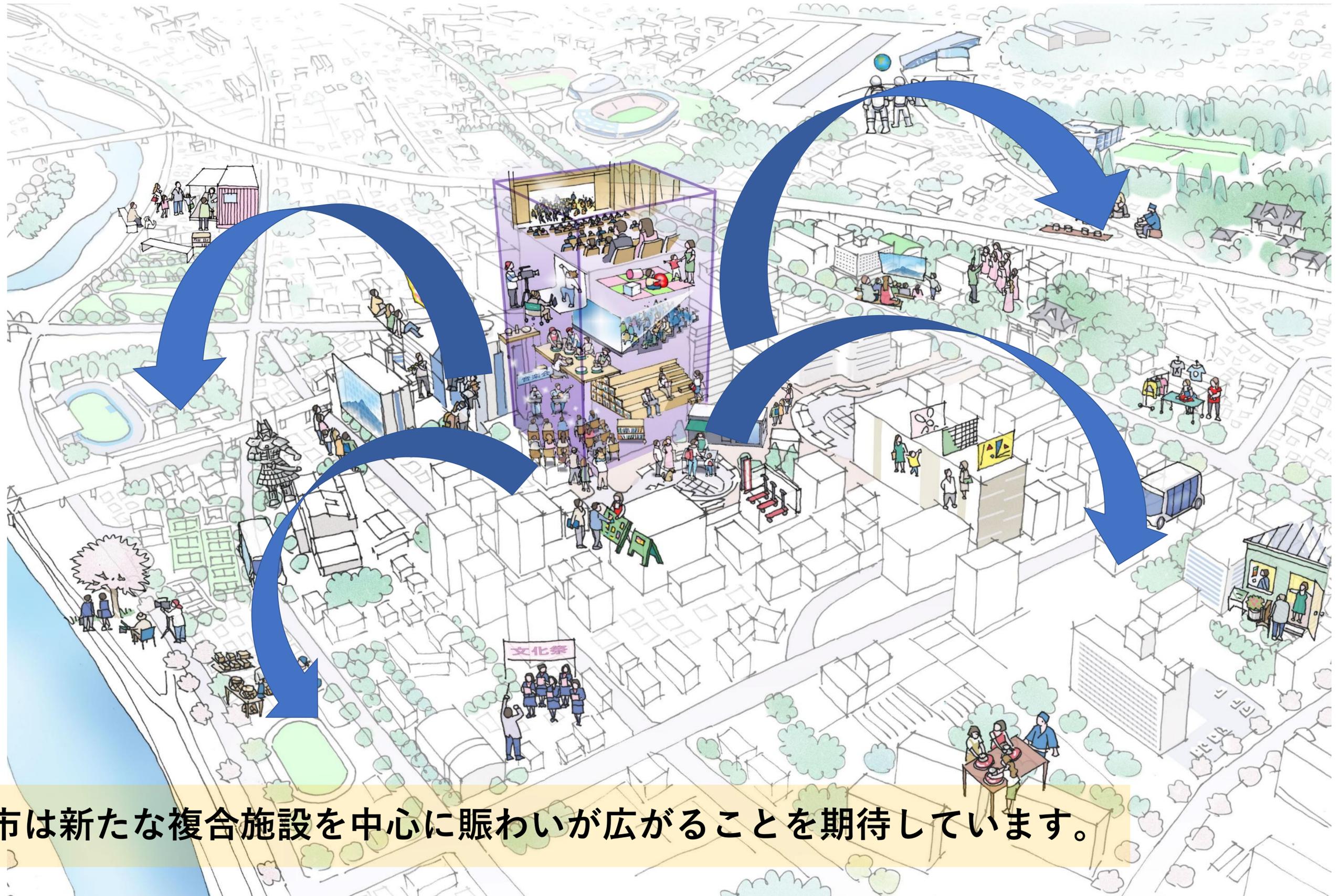
この画像はイメージです。

駅前広場とどんな連携ができればいいですか？



■ 調布駅前広場整備計画図 (令和3年3月)

パネル⑱ 新たなグリーンホール複合施設による賑わいの創出に向けて (つづき)



市は新たな複合施設を中心に賑わいが広がることを期待しています。

この画像はイメージです。

ホールを含む複合施設として民間活力による整備を検討しています

民間活力を活用し
財政負担を軽減

【公共施設マネジメントにおける課題】

バリアフリー対応
など**機能の改善**

【グリーンホールの課題】

施設機能や設備の
老朽化への対応

調布駅前にある市有地
という立地を生かし、
賑わいを創出

【まちづくりの方向】

パネル⑳ 新たなグリーンホール整備に向けたスケジュール案

現時点で予定している事業スケジュール案は以下のとおりです。

	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度
市民参加・検討会	市民参加 ・有識者検討会							
ホール機能 ・事業手法の検討	ホール機能 ・事業手法の検討							
基本構想の策定 ・事業者選定	基本構想の策定・事業者選定							
基本設計・実施設計 ・施設建設				設計		施設建築		

このスケジュール案は、確定したものではありません。